

メッセージアウトライン コリント人への手紙 第一15:1~11 「あなたがたに宣べ伝えた福音」

[1-2]「兄弟たち。私は今、あなたがたに福音を知らせましょう。これは、私あなたがたに宣べ伝えたもので、あなたがたが受け入れ、また、それによって立っている福音です。また、もしあなたがたがよく考えもしないで信じたのでないなら、私の宣べ伝えたこの福音のことはしっかりと保っていれば、この福音によって救われるのです」

神はこの福音によって信じる者を救われる。しかし、ただし書きがある。それは、「よく考えもしないで信じたのでないなら」という点である。人が信じたから自分も訳が分からないけど信じようかとか、おもしろそうだから信じようかとか、そのように深く考えもしないで、納得や理解もしないで軽はずみに応答することが厳しく警告されている。次節以下でこの福音とは何であるかが述べられていく。

[3-5]「私あなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書の示すとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、また、葬られたこと、また、聖書の示すとおりに、三日目によみがえられたこと、また、ケパに現れ、それから十二弟子に現れたことです」

この福音の内容は、①キリストは聖書の示すとおりに私たちの罪のために死なれた。キリストの死は偶然ではなく、聖書に示されていたことであり、それは私たちの罪のための身代わりの死であった。→イザヤ書53章、他

②キリストは葬られた。アリマタヤのヨセフが用意した墓に葬られ、その入り口にはしっかりと封印までされた。→マタイ27:57~66 ③三日目によみがえられた。

(死より復活された)→マタイ28:1~6 ④キリストは復活後、ケパ(ペテロ)に現れ、十二弟子に現れたこと。最初にペテロに現れたのは、彼が、主が十字架につけられる前に三度も否定したという激しい罪責感の中にあっただけゆえに、そのペテロの前に個人的にもう一度現れ、彼を赦し、もう一度弟子としてしっかりと立たせることが必要だったからである。→ルカ22:54~62,24:34 すばらしい主の配慮である。そして同様に十二弟子たちにも現れ、彼らも主の復活の証人となった。

[6-7]「その後、キリストは五百人以上の兄弟たちに同時に現れました。その中の大多数の者は今なお生き残っていますが、すでに眠った者もいくらかいます。その後、キリストはヤコブに現れ、それから使徒たち全部に現れました」

⑤キリストは五百人以上の多くの弟子たちに現れた。当時はイエスの復活より20年以上経過していたと思われるので、すでに死んだ者もいたが、今なお大多数の者は復活の生き証人として存在している。⑥ヤコブに現れた。このヤコブは弟子のヤコブではなく、マリヤとヨセフの普通の結婚生活によって生まれたイエスの弟のヤコブ。彼はイエスを神の御子と理解していなかった。イエスはそのために彼に現れ、その後、ヤコブはエルサレム教会の中心人物となった。→マタイ13:55、ガラテヤ1:19、2:9 ⑦使徒たち全部に現れた。この「使徒たち」とは十二弟子だけではなく、ヨハネのバプテスマからイエスの十字架、復活、昇天まで常に行動を共にした者の

ことである。→使徒1:22

[8-10]「そして、最後に、月足らずで生まれた者と同様な私にも、現れてくださいました。私は使徒の中では最も小さい者であって、使徒と呼ばれる価値のない者です。なぜなら、私は神の教会を迫害したからです。ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。そして私に対するこの神の恵みは、むだにはならず、私はほかのすべての使徒たちよりも多く働きました。しかし、それは私ではなく、私にある神の恵みです」

⑧最後にパウロにも現れてくださった。彼は十二使徒たちよりもずっと後に復活のキリストに出会い、しかもその時はキリストの迫害のリーダーとして活躍していた。→使徒9章 そのような彼に現れてくださりキリストの使徒とされたのは全くの神の恵みであった。そしてこの恵みは無駄にならず、彼はどの使徒よりも多く働く者となったのである。

[11]「そういうわけですから、私にせよ、ほかの人たちにせよ、私たちはこのように宣べ伝えているのであり、あなたがたはこのように信じたのです」

「そういうわけですから」とはパウロが今まで述べてきたことを受けて結論としていっているところである。それは、聖書の示すとおりに、神のひとり子、イエス・キリストの私たちの罪のための身代わりの死であり、葬りと復活、そして多くの人々に現れたこと、彼らが確かな証人であることである。そしてコリント人たちもそれを聞いて信じ受け入れたことをパウロは確認している。

私たちもこのように福音を聞き、イエス・キリストを信じる者とされている。それはパウロの言うように、まったく神の恵みなのである。私たちはこの神の恵みのうちに、伝えられた福音をしっかりと保ち、信仰の歩みを進めていかなければならない。